

令和 8 年度実施「ばるちゅうタイム」

1 「ばるちゅうタイム」の特色

「ばるちゅうタイム1」 : 全教科領域による発展的な内容を生徒が選択し学習する活動 (30 分)

※5 分短縮したことによる教科の補充ではない

「ばるちゅうタイム2」 : 良好な人間関係を構築する活動 (30 分)

「ばるちゅうタイムロング」: 教育課程外に位置づけ、参加希望の生徒のみで実施する。基礎・基本の定着と生徒の主体的な参加による活動 (50 分)

2 「ばるちゅうタイム」の活動内容

① 「ばるちゅうタイム1」 第1、第3月曜日実施で前期12回、後期13回

◇教師の個性や生徒の実態を反映したコース(前期・後期で入替の2サイクル)

※開設コース数は、前期、後期それぞれ25前後(1コース28名程度)を予定

※各教科による発展的な内容の例

- ・幾何学の不思議 (数学)
- ・俳句の達人 (国語)
- ・英会話の時間 (英語)
- ・その他 (30 分で実施可能な教科の特色を！)

※ばるちゅうタイムロングでは扱えないが教科以外の内容を開設したい場合も可能とする。(例：理科の教師が30分で可能な理科以外のものづくり)

② 「ばるちゅうタイム2」 第1、第3水曜日実施で前期6回、後期8回

◇ソーシャルスキルトレーニング (通年12回)

良好な人間関係づくりをしていくためのトレーニングメニューを月1回実施する。
(校区事業)

- ・各学級規模で実施する。
- ・担当は学級担任もしくは学年教師とする。

◇生徒会による集会等（通年 2 回）

生徒会主体で縦割りの人間関係を構築する機会

③ 「ばるちゅうタイムロング」 第 2、第 4 水曜日実施で前期 8 回、後期 9 回

◇学びなおし（前期 2 回、後期 2 回で 4 回実施）

理解や修得が十分ではないと感じている教科等の内容を振り返って学びなおすことで、理解と自信が向上する。

◇教師の個性や生徒の主体性を生かしたコース（前期 6 回、後期 7 回で 13 回実施）

※コース設定は通年とし、運営は 1 人でも複数でも可能とする。

※「ばるちゅうタイムロング」は教育課程外に位置づけ、希望者のみ参加とする。

※開設コース数は、10 前後を予定

※開設コースの例

- ・食育コース（弁当作りの基礎基本）
- ・校内ボランティアコース（花壇の整備、修繕支援、掲示物作成 等）
- ・メンタルケアコース（ヨガ、ダンス、ボディパーカッション 等）
- ・体力向上コース（サッカー、野球、バレーボール、剣道、陸上 等）
- ・ものづくりコース（工作、花づくり、野菜づくり 等）
- ・文化芸術コース（演奏、コーラス、デッサン、書写 等）
- ・その他（皆さんの豊かな発想で！）

3 「ばるちゅうタイム」の教師分担イメージ

		A 先生	B 先生	C 先生	D 先生	E 先生
ばるちゅうタイム 1	発展的内容	前期 12 回	後期 13 回	×	前期 12 回	後期 13 回
ばるちゅうタイム 2	ソーシャルスキル	通年 14 回	通年 14 回	通年 14 回	通年 14 回	通年 14 回
ばるちゅうタイムロング	学びなおし	担当教科 4 回	担当教科 4 回	担当教科 4 回	担当教科 4 回	担当教科 4 回
	生徒の主体性	×	×	通年 13 回	通年 13 回	通年 13 回
合計数		30 回	31 回	31 回	43 回	44 回